

前田建設工業株式会社

<https://www.maeda.co.jp/>

<https://www.maeda.co.jp/csr/environment/>



《将来に向けた取組方針》

AIやIoTによるデータ収集と展開で、生物多様性保全への貢献をめざす。

- ・ICI総合センター（茨城県取手市）にあるビオトープを含む緑地エリアを活用し、地域の生物多様性保全に貢献すると同時に、樹種や昆虫類の生育、野鳥の飛来状況等のデータを収集、分析し、その結果を物件提案等に反映させる。
- ・地球温暖化防止に向けたCO₂排出量の中長期目標を達成し、気候変動への適応と緩和、いずれも視野に入れた、生物多様性保全の基盤をつくる。

〈これまでの主な取り組み事例〉

【日本】ICI総合センターにおける緑地エリアの開発(2018)

当社施設内に約50,000㎡の緑地を開発。地域の在来種を中心とし、樹木の階層構造を意識した植栽を実施。2018年にJHEP認証AAAランクを取得。



MAEDAの森 森林整備活動(2011～)

当社に所縁のある長野、福井、熊本で社員と家族による森林整備活動を実施。



【ベトナム】枯葉剤で枯死した森林の復旧支援(2014～)

現地NGOによる、枯葉剤で枯死した森林(クアンチ省)の復旧活動を支援。7haのパイロットプラントで在来種による森林復旧のノウハウ蓄積を実施している。



〈これまでの成果〉

【定性】参加型活動によって、社員・家族の環境意識や知識の向上が見られた。

【定量】ベトナムの活動はベトナム科学技術協会(VUSTA)から「ベトナムの持続可能な発展に寄与した国際パートナー」として表彰された(2019)

〈今後の課題〉

- ・社会貢献だけでなく、生物多様性保全が事業として成立する市場の成熟と企業努力の両方が必要
- ・事業化するにあたり、AIやIoT等の革新技術を利用した生物多様性に関するデータ化が必要

〈当社にとって生物多様性の取り組みとは〉

未来の地球、未来の私たちに向けた配当